

団にも洗い始める猿が現れ始めた、という話です。これは、量的な飽和が質的な飛躍を起すという法則です。

おそらく返品数も相当なもので、それを観察するという量的な蓄積が「たくさんの返品さ

れた靴を見ているうちに、これは決して靴が悪いだけではないと気づいたのです。相当姿勢のバランスが崩れた人がいる、と

気がついたのです。「という気づきになつたと思われま

す。さらに「これは決して靴が悪いだけではないと気づいたのです。相当姿勢のバランス

が崩れた人がいる」という気づきになつたのですね。

「インソール作りで最も大切な時間は足型をじつと観察する時間です」ということですが、

その足型の持ち主の姿が見えて初めて工程に入るといのも匠ならではです。

足型に石膏や樹脂を流して、コンピューターなどで解析して「その人にピッタリするイン

ソールを機械が自動的につくる」とものとは本質的に違うことがわかります。退化してしま

った欠陥のある足裏にピッタリのものをつくつてなにか意味があるのでしょうか。値段の

安い高いという次元では比較できないものがあります。わたしは匠の直感でつくるとい

話に共感したのです。

それが「姿美人」の凄さになっていきます。いままでにさまざまなインソールを筋反射テスト

トをしてきましたが、「姿美人」を超えるものには出会えませ

たまねぎ皮パウダー「血管美人」タマネギパウダーを製造している長野県の現場をみてきました。

0エミツション(廃棄物を出さない)を目標に考えられたもので、決して人の健康を考えて発想されたわけではないのです。ゴミ処理はこの自治体も緊急課題になっていま

す。したがって皮を1キログラム廃棄するのに80円もの負担がかかっていたそうです。

最初は粉ではなく粗い状態で豚の工サに3%混ぜて食べさせていたそうです。そうすると豚舎に異変が起きました。一切の糞尿からの異臭がなくなつたそうです。

しかも、その頃から子豚の成長が早くなり、血液検査などで調べると完全な健康なからだであつたそうです。脂肪が少なくなり、その肉質はよく

なり高い値段で売れるようになったとか。普通飼育豚は三つくらい

の病気を同時に抱えているそうです。みなさんは「一部摘出肉」という言葉

をご存知ですか。これは癌や病変部位を取り除いて市場に出荷される肉

のことです。豚の場合は約80%近くあるそうです。(ある豚舎で撮影された豚を見たことがあります

多くの豚にコブがありました。顔や腹などおかしな場所に不釣り合いに瘤があります。これは癌組織なのだそうです)

有病率がこんなに高いものを食べて、人に影響はないのでしょうか。

現在アメリカの牛肉の輸入問題がありますが、そんなにまでして牛肉を食べる必要があるのかと思

います。豚がこんなに健康になれるのなら人間が食べても同じような効果があるのではないかと

だれしも考えるわけですが、事実豚と人は同じ体温であり、DNAもほぼ同じな

ので食べやすいようにさらに細かくパウダー状態にしてエサ、失礼副食に混ぜてみたのです。メーカーの社員さん全員が毎日食べ

ました。脂肪肝や痛風、糖尿病、高脂血症など

がみえる改善されていったのです。それを聞いた取引先の人たちまでが

食べ初めて改善されたのです。これは凄いと

いうことで現在信州大学医学部で研究が始まっています。

たまねぎ皮、その薬効
当研究所では従来よりたまねぎの皮に着目して

おり、体質により特別食養処方箋として皮の煎じ汁を指定してきました。糖尿病で足の指に壊疽(エソ)が始まった人もお茶代わり

これらはすべて「血行回復」に秘密があるのです。そう、たまねぎの皮にはケルセチンという物質が多量にあり、これが結果として血管の脂を

洗い流し、血管の細胞を活性化させ、再生させてくれたのです。だからと

いつてケルセチンだけを抽出したものを取ればよいというわけではあり

ません。皮という全体の成分がケルセチンの働きを倍加させているので

す当研究所では、より効果を上げるためと美味しくするために金時しょうがをこれに混ぜたものをつくり

ました。しょうがが入りにさらに発酵黒にんにくを加えたものもつくつて

います。お味噌汁やスープに混ぜるとこくが生まれ、その甘味とともに料理が美味しく

なります。焼き飯や野菜炒めなどの油料理に使うと、油脂の吸収を抑えますし美味しく

なりますよ。

編集後記
これから夏が本番です。夏バテとは消化器バテ

なのです。身体を冷やす果物や極度に冷やしたものの過剰が小腸を冷やし、吸収力を弱めてしまつ

のです。対策としては冷やしすぎたものを控えることと、靴下をして眠ること、できればふくらはぎにも柔らかい目のサポーターが必要

です。食養としてはトマトを乱切りしてたくさん煮込み

ます。トマトベアの煮込み野菜がお勧めです。無塩のトマトジュースを使用して

かまいません。では、9月に再び紙上でお目にかかり

ましょう。お元気

つたのですね」

匠「そうですね。わたしの妻はブテックをしています。常連のお客様が妻の変わりように驚いたそうです。そんなに効果があるものならわたしも欲しいと注文が次々にきたのです。あまりに請われるので作り始めたのですが、次々に良い報告が届きました」

私「そのうちに匠を神様という人まで現れたのです。キリストは歩けない人を歩かせたわけですから、そういう気持ちもわかります。わたしのところでもインソールをつくってから人生が変わった！という人が大勢います。ところで奥様が最初のきつかけだったということですが、そういうものですね。不思議なことですが、世の中に必要なものは偶然の力が作用して引き出されるのです。奥様が身をもつて匠の仕事の世の中に引きずり出したのですよ。」

匠「今も勉強中で、この仕事は深くて面白いものです」

私「インソールを作成するときに、もっとも重要で力の入るところはどういったところですか」

匠「それはお客様の足型を最初に見た一瞬です。じつと見ていることが多いです。そうしていると、このお客様の姿が見えてくるのです。そのときにどうやって作るかの基本方針が決まります。」

姿が見えてこないうちはそれが決まらないので、何時間でも見えています。全体の工程時間の8割がたをそこに使っています。最初の直感が大切だと思っています。

私「実際の作業も見ていて大変で何回も何回も削っておられ、一足つくるのに大変な神経と時間を使っているのですね。見ていても疲れます」

匠「わたしは面白くてやっています、少しも疲れません。工場にいてつくっているときに一番楽しいのです」

私「睡眠のとり方も分割睡眠だそうですね。」

匠「2時間眠って、仕事。数時間してまた1時間から2時間……。一日中そういう感じでしています。そのソファアがベッドです(笑)」

私「最後に、匠にとってインソールとはなんですか」

匠「それは使っている人にとってインソールが空気みたいな存在になつてもらえればいいと思っています。胃が悪い時はその存在を感じるでしょうか？ 正常な時は胃のことは忘れていきますよ。完全にその人の一部になつてもらえれば成功です。決して、履いて気持ちがいいということを目指していません。結果として気持ちがいいとよく言われますが、気持ちのよいものを作

るうとは考えていないのです。使って痛い、かゆい、違和感がある……。そういうわれれば、もう少しこのアーチを少し動かせば、低くすればというようにできますが……。あえてそうはしません。あくまでその人にとつてあるべきアーチとその位置関係で作っています。そうやっていきますと、脳にキチントした情報が足裏から伝わり、脳が姿勢制御に勝手に働き始めるのです。脳は正しい情報がくれば正常に作動するものだと思っています」

私「そうした考え方は、非常に東洋医学に通じるものがあり共感できるところです。私たちには自然治癒力というものが備わっています。現代人は、その自然治癒力を余計な生半可な知識で覆ってしまったて働きにくくさせています。日常の生活を本来あるべき姿に戻せば脳もバランスを取り戻して身体各部に正常な指令を出せるようになるという考えと同じです」

匠「そうそう、たとえば脚の長さが違つておれば短いほうをかさ上げするためにインソールを厚くする、などが余計な人智なのです。わたしも試行錯誤のときはそれをやっていました。整形でもそれをしていきますが、それによく似たという話はまったく聞いていません。O脚を治すの

に重心が外へ流れているのだから、外のアーチを高くする、というのも人智です。わたしはむしろ内側の土踏まずがその人にとつて低くなり過ぎたことが原因だと思っています。土踏まずを高くしてやると、脳が内側に力を入れるように働き始めて、結果としてしまりのよい太ももになり治るのです」

私「なるほど、よくわかります。若い人ほど姿美人を使つて早くO脚が治つていきます。腰の高さも同じになり、生理痛まで解消されたという報告が多いです。足裏と脳と姿勢の関係が正常になれば全体としてその人をよい方向に導くということ、これは東洋医学の真髄に通じるものがあります」

これからも健康に留意していただいて、もっとたくさんの人を助けていただきたいと願っています。ありがとうございます」

あとがき

いかがでしたでしょうか。わたしは量販靴を100万足ということに驚きました。ここで

思い起こされることは101匹目の猿の逸話ですね。ある猿の集団で100匹の猿が芋を

洗って食べていました。若い猿だけです。ところが101匹目が洗

い始めるとその習慣はその集団全体の習慣に一気に変わっただけでなく、海を隔てた猿の集

大日山人さんって何歳なのですか?という質問がきたま寄せられます。最初の頃はなぜそんなことを気にする人が多いのかわかりませんでした。よくよく聞くと、「もしもお年寄りだったら何足も注文しておかないと、後で困るから」ということだったのです。

今まで困っていたのに見違えるような歩行になった人ほどそう思われるようです。大日山人さんが元気なうちに余分につくっておこうというわけですね。

私「まずはインソール作りをはじめたわけを教えてください」

匠「私はね30年前から靴を作っていたのです。量販の靴なら100万足つくりました」

私「気の遠くなるような、聞いても途方もなく現実感のない数ですね」

匠「当時は経済も上向きの時代でした。たすら作っていたのです。ところが当時は糊の質が悪く返品も大量にありました。返品された靴を見ると無残でした。一つ一つ点検していました。靴の片方だけが異様に目減りしたものの。外側だけが、かかとだけが、あるいは右足のかかとが目減りして左は前が磨り減っているもの。たくさん返品された靴を見ていくうちに、これは決して靴が悪いだけではないと気づいたのです。相当姿勢のバランスが崩れた人がいる、と気がついたの

です。その頃から返品された靴を履いていた方の姿を想像するようになったのです。実際に返品された靴を履いてみて、その感覚も味わっていました。町を歩いている人のその様子と靴を交互に見るようになったのもその頃です。脱ぎおかれた靴を手にとって見て、その人が戻ってくるのを待ち、その人の体形や歩き方などを観察してしました」

私「わたしも今同じようなことをしています。肩が揺れるような歩きの方を見ると、思わず後ろについてじつと足元を見てしまいますね。そういうときに声をかけてみたくになります。インソールを履かせるとどうなるのかと興味津々です」

匠「そうそう、この人を靴で美しく歩かせるようにできるかしらと思いはじめたのです。でもすぐに気がつきました。靴の全体の形ではなく、靴の本質的な場所は足裏に接しているところなのです。昔、人は裸足だしまっすぐに立って歩いていたのです。現在もはだしで美しく立っている民族がいますね。つまり、足裏にこそ真つ直ぐに立てる秘密があるのです。それから足裏や人の身体の構造を本で勉強しました。そして実際に足裏を正すためにインソールの試作を始めました。試行錯誤の連続でした。

最初は土踏まずだけのインソールを作りましたが、それを人に敷いてもらっても一向にうまくいきません。今一般的に作られているのがこれですが、わたしから見ればそれは、過去の失敗作を見ているような感じですね」

私「三つのアーチを備えた現在の形になったのはだいぶ後のことなのでですね」

匠「そうですね。運動を充分にした正常な足裏は三つのアーチが備わっています。それは運動を充分にした人に対して自然が与えてくれた褒美だったのです。この三つのアーチは三位一体で働きます。三脚は、どの脚も重要なのです。一つでも取ると不安定になり倒れます。アーチは三つなければならぬのです」

私「そうやって試行錯誤から抜け出した頃、奥様が大変なことになったそうですね」

匠「そうですね。もともと膝が悪いのに急ぐ必要があったらしく荷物を両手に持ってハイヒールで駆けて捻挫してしまい、その日は痛い程度だったのですが、翌日から歩けなくなりました。机に手をつけて身体を支えて移動するよう有様でした。なにもなければ床を這っていました」

奥様が急いでいたわけ ランチのタイムサービスに間に合わせる

ため・・・
私「奥様は膝の一部が壊死しているそうですね。時々痛んで歩けなくなっていたとか・・・。そこで試しに試作のインソールを靴に入れてみた・・・」

匠「何日も歩けない様子なので、試してみましたが」

私「そこは奥様から聞いていました。が、履いた瞬間から嘘みたいに歩けたとか」

匠「ええ、わたしも驚きました。ためにインソールをはずすと歩けなくなる・・・。なんども試してみましたが鮮やかなくらいに違いがあるのです。しばらくすると、持病の膝痛がまったく起きない。水もたまらなくなりました・・・」

私「姿美人を履いていただくということがけっこうありますね。それにしてもなぜそんな現象が起きたのでしょうか」

匠「おそらく姿勢が良くなって膝が正常な位置に戻ったのでしようか。膝に対して異常な重さがかからなくなったのでしようね」

私「足裏が正された瞬間、上部の膝が一瞬に正しくなった、と・・・。それにしても不思議なこと。最初のお客様が奥様だったのですね」

匠「そうですね。でもまだ勉強中でこれが売り物になるとは考え

ていませんでした」

私「ところが周囲がそれを許さな

か

あすなろ新聞

B L 研究所
100円/1部

- ◆ セミナー報告
- ◆ 大日山人さんに聞く
血管美人について

ざいました。とおっしゃるではあ〜〜りませんか！
 (笑)(笑)(笑)(笑)(笑) おお！むつふつふつふ(笑)三日間の成果が見事に現れたのですね。略

7月三日連続セミナー報告

ゆっくりとしたペースで書いてきた「あすなろ新聞」ですが、今回で二十号となります。よくぞ書いてきたものだと感慨もひとしおです。みどりのお米普及の一助になればと始めたものですが、話題は多岐にわたってしまい、今ではわたしの趣味の世界になってしまったようです。

このようなマニアックな新聞ですが、世の中には奇特な方も大勢いらっしゃるようで、ときおり楽しみにしていますという声も聞くようになりました。ありがたいことです。

今回は紙数の都合でいつもの連載講座は休みます。

7月三日連続セミナー報告

今回は複数のゲスト講師を招きバラエティ豊かなセミナーでした。会場は当研究所4階で行いました。

三日間の食事は一日目 カレー これはおなじみの無添加炊飯シリーズでつくったものです。カレーのごはんも炊飯パックでみどりのお米と黒米でした。お味噌汁はみどりのお米でつくった米麹味噌です。7ヶ月寝かせておいたもので甘くて美味しかったです。自信ができましたので今年の冬に、みなさんに食べていただけるくらいの量をつくる予定です。

二日目は朝はシングルセルのにんじんとりんごジュースのみです。お昼はわかめそば。これも炊飯パックシリーズのもので、つけダレはアミノ酸等といった添加物は一切なしのもので。カツオやみりんも加えずつくった精進つけだれです。これにタマネギ皮パウダー(商品名血管美人)を混ぜるとコクが出て美味しくなります。夜はお弁当です。ごはんはもちるんみどりのお米ですが、数種類の副食とお味噌汁です。最後の日の朝食もシングルセルのジュース。お昼は高菜焼き飯や菜っ葉ごはんとおむすびです。

五食だけでしたがこれから始めるダイエットコースを体験していただきました。この食事の効果は後日参加者の一人から報告されました。「略実はね、あの後(セミナーの終わつた日)、ちょっと時間があつたので、ふとひらめいて献血に行つてきました。そしてぼやんとテレビを見ながら、血をとつてもらつていたら、看護師さんが直立不動で、深くお礼をするではありませんか。??? そして「とてもよい血をありがとうございました。すばらしく血行がよいので、このような血を頂きまして大変感謝しております。ありがとうござ

二日目は朝はシングルセルのにんじんとりんごジュースのみです。お昼はわかめそば。これも炊飯パックシリーズのもので、つけダレはアミノ酸等といった添加物は一切なしのもので。カツオやみりんも加えずつくった精進つけだれです。これにタマネギ皮パウダー(商品名血管美人)を混ぜるとコクが出て美味しくなります。夜はお弁当です。ごはんはもちるんみどりのお米ですが、数種類の副食とお味噌汁です。最後の日の朝食もシングルセルのジュース。お昼は高菜焼き飯や菜っ葉ごはんとおむすびです。

五食だけでしたがこれから始めるダイエットコースを体験していただきました。この食事の効果は後日参加者の一人から報告されました。「略実はね、あの後(セミナーの終わつた日)、ちょっと時間があつたので、ふとひらめいて献血に行つてきました。そしてぼやんとテレビを見ながら、血をとつてもらつていたら、看護師さんが直立不動で、深くお礼をするではありませんか。??? そして「とてもよい血をありがとうございました。すばらしく血行がよいので、このような血を頂きまして大変感謝しております。ありがとうござ

今回は複数のゲスト講師を招きバラエティ豊かなセミナーでした。会場は当研究所4階で行いました。

三日間の食事は一日目 カレー これはおなじみの無添加炊飯シリーズでつくったものです。カレーのごはんも炊飯パックでみどりのお米と黒米でした。お味噌汁はみどりのお米でつくった米麹味噌です。7ヶ月寝かせておいたもので甘くて美味しかったです。自信ができましたので今年の冬に、みなさんに食べていただけるくらいの量をつくる予定です。

二日目は朝はシングルセルのにんじんとりんごジュースのみです。お昼はわかめそば。これも炊飯パックシリーズのもので、つけダレはアミノ酸等といった添加物は一切なしのもので。カツオやみりんも加えずつくった精進つけだれです。これにタマネギ皮パウダー(商品名血管美人)を混ぜるとコクが出て美味しくなります。夜はお弁当です。ごはんはもちるんみどりのお米ですが、数種類の副食とお味噌汁です。最後の日の朝食もシングルセルのジュース。お昼は高菜焼き飯や菜っ葉ごはんとおむすびです。

五食だけでしたがこれから始めるダイエットコースを体験していただきました。この食事の効果は後日参加者の一人から報告されました。「略実はね、あの後(セミナーの終わつた日)、ちょっと時間があつたので、ふとひらめいて献血に行つてきました。そしてぼやんとテレビを見ながら、血をとつてもらつていたら、看護師さんが直立不動で、深くお礼をするではありませんか。??? そして「とてもよい血をありがとうございました。すばらしく血行がよいので、このような血を頂きまして大変感謝しております。ありがとうござ

次回10月に予定しております。
重心調整用インソール「姿美人」製作の匠(たくみ)に聞く
 神戸市長田区は靴が地場産業です。多くの人が靴作りに携わっています。匠はその中でも実力が群を抜き名匠と言われている人です。インソールには「大日山人」と印字されていますが、それはペンネームです。「おおびやまのひと」と読みます。兵庫と岡山の県境、ホタルが乱舞する大日山の麓(ふもと)の村で生まれたのです。その村は、現在は廃村になってしまっています。「いつまでもそのふるさとを忘れない」という心で付けられた名前なのです。その姿美人を作られたお客様から「その

次回10月に予定しております。
重心調整用インソール「姿美人」製作の匠(たくみ)に聞く
 神戸市長田区は靴が地場産業です。多くの人が靴作りに携わっています。匠はその中でも実力が群を抜き名匠と言われている人です。インソールには「大日山人」と印字されていますが、それはペンネームです。「おおびやまのひと」と読みます。兵庫と岡山の県境、ホタルが乱舞する大日山の麓(ふもと)の村で生まれたのです。その村は、現在は廃村になってしまっています。「いつまでもそのふるさとを忘れない」という心で付けられた名前なのです。その姿美人を作られたお客様から「その